



# 枝松 瞳

Hitomi Edamatsu Soprano Recital

## ソプラノリサイタル



バリトン 折河 宏治



ピアノ 仲田 淳也

入場料

一般 2,000円 (当日 2,500円)

学生 1,000円 (当日 1,500円)

**チケット取り扱い**

富岡本店、辻楽器店、大沼本店、十字屋山形店、山形プレイガイド

2013.4/21 [日]

14:00 開演 (13:30 開場)

文翔館 議場ホール

Program

日本歌曲より (花のまち、すてきな春に、悲しくなったときは、あわて床屋、電話、すみっこ讃歌、蕎麦の花)

『魔笛』より (鳥刺しの歌、パパの二重唱) / 猫の二重唱 / オペラ『奥様女中』

主催：枝松瞳ソプラノリサイタル実行委員会 協力：NPO法人Mプロジェクト

後援：山形市教育委員会、山形新聞・山形放送、東京藝術大学同声会、北音会

# Hitomi Edamatsu Soprano Recital

## 枝松 瞳 Edamatsu Hitomi (ソプラノ)

山形市出身。山形県立山形北高等学校音楽科卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学別科修了。日本歌曲振興会第18回日本歌曲コンクール声楽部門第1位及び四家文子賞受賞。2007年イタリアに短期留学。その後、オペラ振興会オペラ歌手育成部29期修了。新人育成オペラ公演『イル・カンピエッロ』(ガスパリーナ)で本格デビュー。また、文化庁支援事業人材育成オペラには、『イル・カンピエッロ』(ガスパリーナ)、『魔笛』(パパゲーナ)で出演。その他『カルメン』(フラスキータ)等に出演。宗教曲では、モーツァルト『レクイエム』、オルフ『カルミナ・ブラーナ』、ヘンデル『メサイア』等に出演。メサイアでは山形交響楽団と共演。2011年12月結婚を機に、広島市に移住。その後、広島オペラルネッサンス『魔笛』(パパゲーナ)への出演や、夫婦でジョイントコンサートを行うなど、広島でも活動の場を広げている。これまでに声楽を大類雅子・斎藤雅子・本宮寛子・永井和子・寺谷千枝子・木村俊光の各氏に師事。ピアノを小野陽子・山内光子・岡田敦子の各氏に師事。藤原歌劇団準団員。

## 折河 宏治 Orikawa Hiroharu (バリトン)

広島県出身。国立音楽大学卒業。同大学大学院修了。第14回日本モーツァルト音楽コンクール第3位。ウィーンに短期留学。藤崎育之、岩淵嘉瑩、荘智世恵、久岡昇、南條年章、ウィリアム・ブランケンシップの各氏に師事。02年国立音楽大学大学院オペラ『フィガロの結婚』のフィガロでオペラデビュー。04年藤原歌劇団公演『イル・カンピエッロ』にアストルフィとして出演、藤原歌劇団デビューを果たす。続いて、アラン・ギンガル指揮『蝶々夫人』、アルベルト・ゼツダ指揮『セヴィリアの理髪師』に出演。また日生劇場で行われるNISSAY OPERAではこれまでに十束尚宏指揮『ジャンニ・スキッキ』(公証人)、広上淳一指揮『利口な女狐の物語』:佐川吉男音楽賞受賞作品(ハラシュタ)、上岡敏之指揮『魔笛』(パパゲーノ)、昨年11月には、広上淳一指揮『フィガロの結婚』(フィガロ)に出演。その他、国立音楽大学大学院オペラ『ドン・ジョヴァンニ』でのタイトルロール、横浜シティオペラ『魔弾の射手』(カスパール)、サントリーホールオペラ・カヴァーキャスト公演(指揮:ジュゼッペ・フィンチ、チェンパロ:ニコラ・ルイゾッティ)『コジ・ファン・トゥッテ』(グリエルモ)をそれぞれ好演するなど、多数のオペラに出演。また、ベートーヴェン『第九』、ヘンデル『メサイア』、モーツァルト『レクイエム』、フォーレ『レクイエム』、シューベルト『ト長調ミサ』など、多くの宗教曲のソリストもつとめている。最近では広島でも活動を始め、8月にはオペラ『遣唐使』~阿倍仲麻呂~に阿倍仲麻呂役として出演。エリザベト音楽大学演奏学科専任講師。

## 仲田 淳也 Nakata Junya (ピアノ)

愛媛県出身。国立音楽大学ピアノ科卒業。2003年にイタリア、ミラノ音楽院に入学。平成17年度文化庁在外研修員(コレペティトゥア)として再び渡伊、数々のオペラにスタッフとして参加する。2004年にはマントヴァのテアトロ・シェンティーフィコでのコンサートに出演。イタリアでは3年間に渡りC・カメリーニ(スカラ座元音楽監督)P・ベルリーノ(スカラ座コレペティトゥア)両氏よりイタリア語のディクシオンや伝統的な音楽解釈を、C・ザッパ氏に指揮法を、またG・ロルミ氏の元では声楽の表現法を学ぶ。帰国後はピアニスト、コレペティトゥア、指揮者として活動している。2009年にはモーツァルトのレクイエムの公演に於いてホセ・カレーラス氏のコレペティトゥアを務める。2012年に『イル・トロヴァトーレ』を振り本格的に指揮者として活動を始め、これまで『ジャンニ・スキッキ』『カヴァレリア・ルスティカーナ』『蝶々夫人』『カルメン』を指揮している。指揮を星出豊、樋本英一の両氏に師事。日本歌曲の分野では、塚田佳男、関定子両氏に師事し、2007年より音楽の友ホールで続けられている日本歌曲シリーズに参加、音楽の友誌上で「歌唱の呼吸を心得た弾きぶり」と評された。その他器楽の分野でも古澤巖、天満敦子、石田泰尚らヴァイオリンの名手と共演。自身のユニット『PETITS☆COPAINS』では工藤ゆかり(Vn)との共演でオペラ・アリアと歌曲をアレンジしたCD『アズラオ』『献呈』が発売されている。現在、昭和音楽大学及び大学院非常勤講師。2007年からは新国立劇場にもピアニスト及び副指揮者として参加している。